



# 明日を信じて

新潟市立潟東小学校 平成30年4月20日発行 第1号

「明日（あす）を信じて」は校歌のサブタイトルです

## 笑顔輝く潟東小学校

子どもたちはもちろん、保護者も、地域も、そして教職員も

校長 篠宮 敏明

4月6日の始業式では229名の子どもたちを、9日の入学式では37名の1年生を迎え、潟東小学校の3年目が始まりました。全校児童266名、教職員28名、12学級でのスタートです。

開校からの2年間の学校運営・教育活動を総括し、潟東小学校の「伝統・魂・絆」の創造、そして確立に向けて全力を注いでまいります。引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

転入教職員を迎えた4月2日の職員会議で、私は教職員に、「笑顔輝く潟東小学校～子どもたちはもちろん、保護者も、地域も、そして教職員も」という学校経営方針を示しました。子どもたちの「笑顔」は、「自己実現」「自己有用感」「達成感」「克服感」の表れであり、学校・家庭・地域が連携し、すぐれた教育を積み重ねることで実現すると考えているからです。

今年度も子どもたちの「笑顔」の実現のために、二つの方策を推進していきます。

一つ目は、「教職員一人一人が教師としての力（教師力）を高める」ということです。教職員が互いに学び合い、磨き合う中で、「教師力」の要素となる「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」を高めてまいります。そして、価値ある教育活動を計画的・組織的・継続的に推進することで、子どもたちの「笑顔」を輝かせていきます。

二つ目は、「保護者の皆様、地域の皆様の力を結集する」ということです。皆様から潟東小学校の教育にご理解をいただき、様々な場面において「共育」「協働」を進めることで、学校教育は拡充し、より大きな成果につなげることができます。家庭・地域と連携した取組の充実を図り、子どもたちの「笑顔」を確かなものにしていきます。

子どもたちの「笑顔」は、保護者の皆様、地域の皆様、そして私たち教職員の「宝物」です。子どもたちの「笑顔」を支援し、子どもたちの「笑顔」を共有し、子どもたちの「笑顔」を自らの「宝物」にし、さらに「笑顔」で子どもたちに還元する、そんな「笑顔サイクル」を創り上げていきたいと思えます。学校・保護者・地域が共に手を携えながら、互いの「笑顔」を光り輝かせる教育を推進していきましょう。

開校3年目となる平成30年度も、教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく」の具現を目指し、「深く考え、学び合う子（知育）」「自らを律し、絆をつなぐ子（徳育）」「めあてに向かって、やりぬく子（体育）」の3つを重点目標に教育活動を進めます。詳細は、4月27日の学習参観後の学校説明会で説明いたします。皆様のご来校を心からお待ちしています。